

「ロシアは即時撤退を。」

その声が
積み重なり、
世界の
意思になる。

国連総会でロシアへの
非難決議が採択

193カ国中

141カ国が賛成

もしウクライナが生き延びなければ、国際平和も生き延びられない。民主主義が陥落しても不思議ではない。

ウクライナ/
セルゲイ・キスリツァ 国連大使

核兵器による勝者はなく、犠牲があるだけだ。(中略) 出口は一つ、それは外交だ。戦争ではない。

キプロス/
アンドレアス・ハジクリサンソウ 国連大使

沈黙が(ロシアのウクライナ侵略の)同意と誤解されないように、われわれは立ち上がるべきだ。

アンティグア・バーブーダ/
ウォルトン・ウェブソン 国連大使

侵略戦争を許さない！の声をともにあげよう

ロシア政府による軍事侵略は、ウクライナの主権と領土を侵すものです。これは、「主権平等」や「領土の保全」「武力行使の禁止」等が記された国連憲章と国際法の原則に明らかに違反しています。

いま世界中、そしてロシア国内でも「戦争反対」の声が上がっています。私たちも、侵略戦争反対の一点で連帯し、「ロシア軍は直ちに撤退せよ」の声をあげましょう。

世界の主流は核兵器NO！

プーチン政権の核兵器による威嚇に対し、世界中から非難の声があがっています。そのような中、日本維新の会が政党として「提言」した「核共有」の議論は、核による脅威に核で対抗しようとするプーチン政権と同じ立場に身を置くものです。

核による脅威を取り除く方法は、全世界から核兵器を廃絶するしかありません。岸田政権は、核兵器禁止条約への参加を拒んでいます。核兵器廃絶は急務です。唯一の戦争被爆国としての役割を發揮するために、日本は核禁止条約に参加すべきです。

日本政府は、平和的解決の先頭に！

岸田政権は、過去最高の軍事費を計上し、軍事力の拡大を進めています。憲法をないがしろにした大軍拡を絶対に許してはいけません。いま、日本政府がすべきことは、憲

法を変え、軍事国家への道に突き進むことではなく、武力の行使を禁じた国連憲章・憲法9条にもとづく平和的外交努力の先頭に立つことです。

国際平和を脅かすロシアの侵略は、
私たちにとっても決して人ごとではありません。
いま、一人ひとりが声を上げ
「侵略を許すな」の一点で力を合わせ、
プーチン政権を包囲しましょう。